

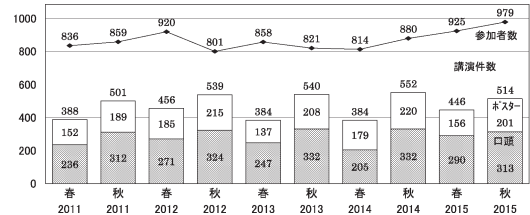
2015年度秋季大会の報告

2015年度秋季大会は、京都テルサ（京都市南区東九条下殿田町70番地）を会場として2015年10月28日（水）～30日（金）に行われた。参加者数（前納登録者と当日受付者の合計）は過去最多となる979名であった（第1図）。

大会期間中は、ポスターまたは口頭発表による一般講演、並びに特定のテーマに基づいて世話人が編成する6件のスペシャル・セッションが行われた。講演件数は、一般講演409件（ポスター201件、口頭発表208件）、およびスペシャル・セッション105件、合計514件であった。

また、会期中およびその前日に、個別のテーマによる5件の研究会が開かれた。

2日目午後には、京都テルサ・テルサホールにおいて堀内賞が川村賢二氏と井口俊夫氏に、正野賞が山口宗彦氏と吉田幸生氏に、山本賞が坂崎貴俊氏と板橋秀一氏に、奨励賞が實本正樹氏とサニーエンジェルス（代表：山本由佳氏）にそれぞれ授与された。授賞式の後、堀内賞、正野賞及び山本賞の受賞記念講演が行われた。記念講演に引き続き、大会シンポジウム「スーパーコンピューティングと気象学」が開催され、



第1図 過去5年間の大会参加者数と講演件数（ポスター、口頭（スペシャル・セッションを含む））。

6件の基調講演と講評及び総合討論が行われた。

今大会の開催にあたり、9の企業・団体からご出展・ご協賛を頂きました。厚く御礼申し上げます。

最後に、今大会実行委員として大会準備・運営にご尽力頂いた大阪管区气象台、京都大学、神戸大学、京都産業大学、理化学研究所、総合地球環境学研究所、日本気象予報士会関西支部をはじめとする関西支部の皆様へ深く感謝の意を表します。

2015年11月 講演企画委員会